



2024年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社ADワークスグループ
代表者名 代表取締役社長 CEO 田中 秀夫
(コード番号：2982 東証プライム)
問合せ先 執行役員 経営企画部門 部門長 山野 潤
電話番号 03-5251-7641

自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ

(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)

当社は、2024年8月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり、自己株式取得に係る事項を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、2024年2月8日公表の第2次中期経営計画において「株主価値」の側面から、2024年12月期から2026年12月期にかけ「每期”EPS”二桁成長」の達成を目指すことを示しております。一方で、自己株式の取得については、財務状況や株価水準等を総合的に勘案しながら実施する方針です。

今回、以下①②の理由から自己株式の取得を決定いたしました。

- ① 第2次中期経営計画において示した「每期”EPS”二桁成長」の達成確度をさらに高めるため
- ② 当社グループの実績と成長性が株価に十分に織り込まれていないと解釈できるため（【別紙】参照）

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 50万株を上限とする
- (3) 株式の取得価額の総額 1億円を上限とする
- (4) 株式の取得期間 2024年8月14日より2024年9月30日まで

(ご参考) 2024年6月30日時点の自己株式の保有状況

自己株式を除く発行済株式総数 48,243,104株

自己株式数 1,342,660株

(注) 当社は、役員株式報酬信託を導入しており、信託が所有する当社株式は、自己株式に含めております。

以上

【別紙】

「計画達成実績を積み重ねている（参考1）ものの、株価に織り込まれた永久利益成長率（参考2）は、中期経営計画で示した利益成長率（参考3）を大きく下回る」
したがって、株価の上昇余地は大きく、現時点においては割安との解釈は出来る。

（参考1）

当社グループは直近10年以上にわたり、期初に公表した業績計画を達成している。（百万円）

税前(経常)利益	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
計画	450	500	600	800	900	1,000	890	400	600	800	2,000
実績	450	540	650	(835)	924	1,043	933	432	650	910	2,066
達成率	100%	108%	108%	(104%)	103%	104%	105%	108%	108%	114%	103%

- ✓ FY2013～FY2019は「株式会社エー・ディー・ワークス」としての連結業績
- ✓ FY2013～FY2016は経常利益、FY2017からFY2023は税前利益
- ✓ FY2016は、固定資産に区分された不動産売却益86百万円を特別利益に計上した。経常利益は748百万円であったが、税前利益835百万円が実態的に経常利益であると解釈し掲載している。

（参考2）

2024年8月7日終値（189円）基準で当社のモデルを使って計算した結果（株主資本コスト8%を採用）、株式市場が当社グループに期待している永久利益（NOPAT）成長率は $\underline{\Delta 0.5\%}$ となった。

＜ADモデル＞		（億円）	
<p>企業価値</p> <p>=事業価値（∵非事業資産0）</p> <p>=将来キャッシュフローの現在価値</p> <p>=利益（NOPAT）÷（WACC－利益成長率）</p> <p>=17÷（3.4%－$\underline{\Delta 0.5\%}$）</p> <p>=439</p>	<p>企業価値</p> <p>439</p>	<p>有利子負債額</p> <p>348</p>	<p>株式時価総額</p> <p>91</p>
			<p>株式時価総額（株価@189円）： 91</p> <p>利益：NOPAT（営業利益×（1－税率））： 17</p> <p>株主資本コスト： <u>8%</u></p> <p>有利子負債コスト： 1.7%</p> <p>税率： 31%</p> <p>株主資本額： 163</p> <p>有利子負債額： 348</p> <p>WACC（簿価基準）： 3.4%</p> <p>永久利益成長率： $\underline{\Delta 0.5\%}$</p>

＜ADモデル＞

- ✓ 直近の株価と財務諸表から定数を取得し、株主資本コストと利益成長率を互いに従属する関数にするモデル。
- ✓ 継続成長モデル [将来キャッシュフローの現在価値=FCF÷（r-g）] を流用している。
- ✓ 論旨を極力簡潔にするため、当社の現況に鑑み「非事業資産」「自己資本比率の変動」等を考慮していない。
- ✓ 財務諸表の情報は、2023年12月期実績を採用している。

（参考3）

第2次中期経営計画期間中、税前利益複利13.3%（NOPAT基準では $\underline{11.7\%}$ ）の成長を目指している。

連結	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
	実績	実績	実績	計画	計画	計画
税前利益 （税金等調整前当期純利益）	650	910	2,066	2,300	2,600	3,000